



中運交企第 4 号
平成30年 4月27日

尾鷲市地域公共交通活性化協議会 会長 殿

中 部 運 輸 局 長



地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果の通知について

地域公共交通確保維持改善事業実施要領に基づき実施した二次評価等の結果を別添
のとおり通知します。なお、評価結果については、各協議会等において積極的に公表さ
れたい。

地域内ライダーシステム 事後評価要約版(29年度)

支局	No.	自治体・協議会名		二次評価
		事業概要	自己評価	
		尾鷲市地域公共交通活性化協議会		
三重	51	尾鷲市コミュニティバス:八鬼山線、ハラソ線、尾鷲地区、須賀利地区		
		<p>八鬼山線 アンケート調査(聞き取り調査)において、満足度調査を行い(0を基準とし最大値+2、最小値-2)、目標の0.76に対して0.76で、目標を達成した。</p> <p>ハラソ線 アンケート調査(聞き取り調査)において、目標の0.91に対して0.91で、目標を達成した。この路線は満足度が高い路線で、一定のニーズを満たすことはできた。</p> <p>尾鷲地区 アンケート調査(聞き取り調査)において、満足度調査を行い、目標の0.90に対して0.91で、目標を上回った。聞き取り調査から「市民のバス」として定着してきていることが感じられた。またスーパードのタイアップ事業なども定着してきているのが満足度向上につながっていると思われる。</p> <p>須賀利地区 アンケート調査(聞き取り調査)において、満足度調査を行い、目標の0.71に対して0.85で、目標を大きく上回った。運賃平準化のニーズを満たすことができたことが要因と考えられる。</p>	<p>持続可能な公共交通ネットワーク構築のため、平成29年3月に地域公共交通網形成計画を策定し、計画に基づき公共交通ネットワークの再編を実施したことは評価します。</p> <p>今後は、ネットワーク再編後の各路線ごとに利用状況の要因分析等を行い、今後の改善に繋がる取組が実施されることを期待します。</p> <p>また、市内を運行する地域間幹線系統の中には輸送量が低いものもあり、このままでは当該バス路線を維持することができず、ひいてはこの地域の公共交通ネットワークの崩壊を招きかねないため、これに対応した取組が早急かつ効果的に実施されることを期待します。</p>	

尾鷲・熊野交通圏	A 委員	B 委員	C 委員	運輸局
伊勢・松阪交通圏	<p>◆隣接市と取組みを共有して欲しい。相互に地域公共交通会議の送るなどは可能である。</p> <p>→(県)県で実施している地域別WGで連携に取組んでいきたい。</p>	<p>◆紀北町～尾鷲市の地域間幹線系統について、相賀から先が輸送量10人満たないが、両方とも15～16人になるように按分しているのではないかと。そうだとすると徐々に減らしていくことになる。JRが不便な地域における高校生通学利用で需要の可能性があるが、その他で何か対応策について検討しているか。</p> <p>→(県)島勝線、尾鷲長島線の2系統については、対策会議で検討しており、高校生アソケートや地元スーパーと連携などを考えている。今後の方向性はB先生のご意見も踏まえ検討したい。</p>		<p>◆4系統が輸送量20人割れとなっている。道路が1本しかない中、複数路線が近接しており利用者を取り合っているため事業者の考え方もあるが、分断・整理など踏み込んだ議論が必要ではないか。</p> <p>→(県)熊野新宮(A)(B)は極端に食い違いがあるため、熊野新宮線全体で見直しが必要と考えている。</p>
桑名・四日市・鈴鹿交通圏	<p>◆せつかく県主催で会議を開催しているため、単独市で対応する必要はないのか。</p> <p>◆東員町について、「新たな運行形態」とはデマンド交通のことか。</p> <p>→(町)デマンド運行に限らないが、南北の定時定路線バスに接続するものを検討したい。</p> <p>→(A)利用者が減ったからといって安直にデマンド化しない方がよい。地域住民の移動確保のために本来に必要な手段を検討して欲しい。デマンド交通についてはうまくいっている事例もあるため勉強の上取組んで欲しい。</p>	<p>◆タクシーについて、紀北町ではタクシー会社はなくなりつつあるが、南伊勢町ではタクシー補助のようなデマンド交通があり、多気町にはタクシー会社がなくエリアタクシーを導入している。鉄道や路線バスで対応できない地域をタクシーやデマンド交通、有償運送でカバーしている。東員町においても町内のタクシー待機所の立地なども考慮した上で検討して欲しい。全く営業所のない中でデマンド交通を導入しようとするため事前予約が必要になる。タクシー待機所へバスを乗り入れる方法もある。地域の資源を把握・活用することを考えて多角的に検討して欲しい。</p>	<p>◆デマンド交通について、ある程度運行エリアや時刻が決まっている運行形態であれば、週1回無料のワゴンを運行した方が財政支出は安いかもしれないため、色々な選択肢があることを示した上で検討が必要ではないか。</p>	<p>◆伊勢市、松阪市に地域間幹線系統が集積しているが、両市ともJR・近鉄もある中、地域間幹線が必要ない理由について市町で十分検討して欲しい。</p> <p>◆交通圏全体で鉄道とバスを組み合わせた効率的なネットワークの構築について検討して欲しい。</p>
				<p>◆四日市市が地域間幹線系統についての検討を進めてもらいたいため、三重運輸支局と三重県からも指導をお願いしたい。</p> <p>→(県)地域別WG会議で呼びかけたい。</p>